

2007年度 早稲田大学 人間科学部

日本史 解答例

I 古代の政治 <やや難>

問1エ 問2カ 問3ウ 問4イ 問5ア

問6エ 問7ウ 問8エ 問9ウ・カ 問10イ・オ

問2が難問。問5・7はやや難しいが、飛鳥池遺跡から「天皇」号の最古の木簡が発見されたことは最近話題となっており、直前期の講習でのプリントで紹介していた。早稲田入試では注意しておくべきネタであった。

II 延久の荘園整理令・比叡山焼き打ち <易>

問1ウ 問2オ 問3エ 問4ア 問5ウ

問6イ 問7ウ・オ 問8オ 問9ア 問10イ

大問6題のうち、最も易しい問題であった。史料は2つとも過去に早稲田で出されたことのあるもので、15年分くらい全学部の過去問をやっていれば「ああこれか」と思えた。もっともそんなことができるのは、英・国ができる余裕のある生徒のみで、そうでない受験生は予備校などで習得すべきだった。

III 近世の寺院 <やや難>

問1ア 問2 2エ 3カ 問3カ 問4ウ・オ

問5イ 問6カ 問7エ 問8オ 問9ア・ウ

問3・6の選択肢は、正誤の判別に非常に悩まされる。問題量の多さからいうと、ここに時間を取られてしまっはいけないところであった。

IV 明治時代のアジア外交 <標準>

問1エ 問2イ 問3エ 問4ア 問5ア

問6ア・カ 問7ウ 問8オ 問9イ 問10オ

問7・10が難問。問10は「日露戦争が起こる前」で考えなければならない。

V 近現代の日米関係 <やや難>

問1イ 問2オ 問3オ 問4ア 問5イ

問6ウ 問7ウ 問8エ 問9ア 問10オ

問2・4はやや難しいが、選択肢を比較することでなんとか正解したい。

VI 古代～近代の史料 <やや難>

問1オ 問2エ 問3イ 問4ア 問5ウ・カ 問6カ 問7イ

問8ア 問9ウ 問10エ 問11イ 問12オ 問13オ 問14エ

問2・14が難問。問8・11ができなかった人は、早稲田の傾向をあまりに知らない証拠である。

講評

「該当するものがなければカをマークせよ」のせいで、正誤問題に消去法が使えないものが多く苦しめられた。このため難問が随所に見られ、人間科学部の受験生の学習水準を考えると、合格ボーダーラインは低いと思われる。問題数もかなり多かったのではないか。